

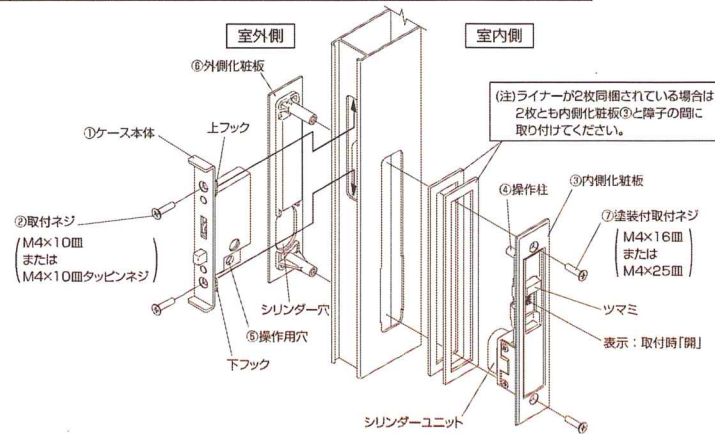
戸先錠・内締り錠取付方法

※裏面の切欠き図を確認し、必要に応じて追加加工してください。

■取付手順

- [1] ケース本体①を上下フックが障子をはさみ込むように挿入し、取付ネジ②で完全に固定してください。
※障子の種類によって、ケース本体の形状が本図と異なる場合があります。
- [2] 内側化粧板③を操作柱④がケース本体①の操作穴⑤に入るように取り付けてください。
外側化粧板⑥を取り付け、塗装付取付ネジ⑦で固定してください。

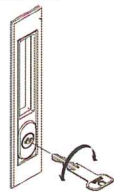
⚠ 取付ネジの締め過ぎに注意してください。インパクトドライバーは使用しないでください。
⚠ 作動に支障をきたす恐れがあります。



※本図は戸先錠を示します。内締り錠はシリンダーユニットおよびシリンダー穴がない仕様です。

■戸先錠・内締り錠の施錠・解錠方法

◆鍵(戸先錠のみ)



- <1> 鍵を差し込む。
- <2> 180°鍵を回す。
- <3> 180°鍵を回し戻す。
- <4> 鍵を抜く。

鍵穴の向き：☺
※施錠時と解錠時の鍵穴の向きは同じになります。

(注) 召合せ錠と鍵の操作方法が異なりますので、ご注意ください。

◆ツマミ

ツマミを下へおろすと施錠、上へあげると解錠します。
ツマミの表示：施錠時「閉」、解錠時「開」
(召合せ錠と操作方法は同じです。)

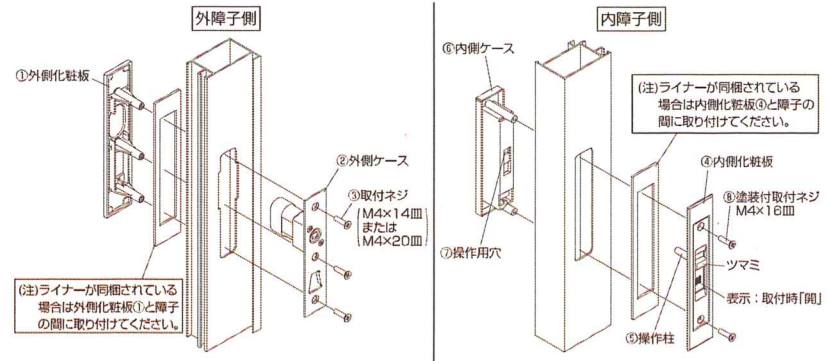
召合せ錠取付方法

※裏面の切欠き図に従って外障子に追加加工してください。

■取付手順

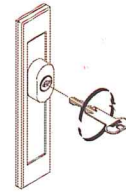
- [1] 外障子に外側化粧板①と外側ケース②を取付ネジ③で固定してください。
- [2] 内障子に内側化粧板④の操作柱⑤が内側ケース⑥の操作穴⑦に入るように取り付け、塗装付取付ネジ⑧で軽く固定してください。
※障子の種類によって、内側ケースの形状が本図と異なる場合があります。
- [3] 内外障子を閉め、鍵およびツマミを動かし、各々がスムーズに作動するか確認しながら内側化粧板④の位置を調整し、塗装付取付ネジ⑧を固定してください。
(本品のみで調整できない場合は、戸車にて調整してください。)

⚠ 取付ネジの締め過ぎに注意してください。インパクトドライバーは使用しないでください。
⚠ 作動に支障をきたす恐れがあります。



■召合せ錠の施錠・解錠方法

◆鍵



- <1> 鍵を差し、更に奥まで押し込む。(シリンダーごと引込みます)
- <2> 180°鍵を回す。(シリンダーが手前に戻ります)
- <3> 鍵を抜く。

鍵穴の向き：☹または☺
※施錠時と解錠時の鍵穴の向きは逆になります。

(注) 戸先錠と鍵の操作方法が異なりますので、ご注意ください。

◆ツマミ

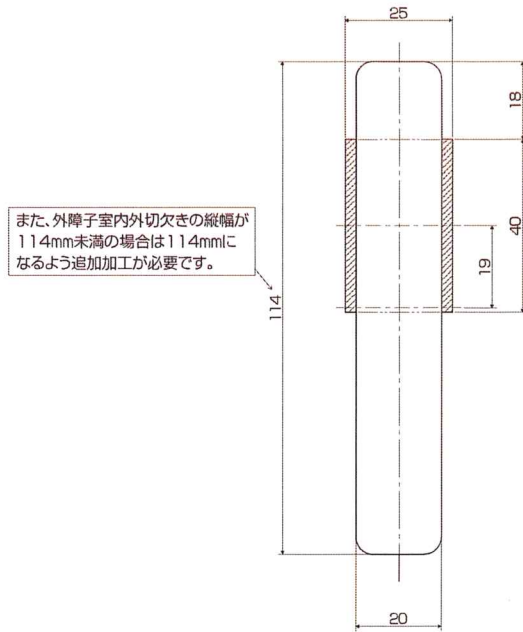
ツマミを下へおろすと施錠、上へあげると解錠します。
ツマミの表示：施錠時「閉」、解錠時「開」
(戸先錠・内締り錠と操作方法は同じです。)

■切欠き図(追加加工)

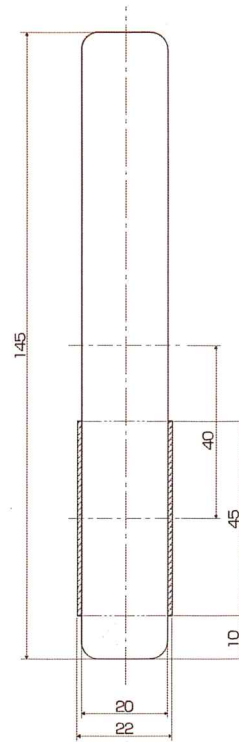
必要に応じて既存の切欠穴に、下図斜線部を追加加工してください。

<召合せ錠>
外障子切欠き

- ・ 外障子側の室内側のみ追加加工が必要です。



<戸先錠>
室内側切欠き



切欠きの横幅が22mm未満の場合は室内側のみ追加加工が必要です。

<内締り錠>
室内外切欠き

切欠きの縦幅が108mm程度の場合は追加加工が必要です。

